



2023年5月15日

各位

会社名 **ダイコク電機株式会社**
代表者名 代表取締役社長 栢森 雅勝
(コード番号 6430 東証プライム・名証プレミア)
問合せ先 代表取締役専務管理統括部長 大成 俊文
(TEL 052-581-7111)

上場維持基準への適合に向けた計画に基づく進捗状況について（流通株式時価総額）

当社は、2021年12月20日に、東証プライム市場の上場維持基準への適合に向けた計画書（以下、「計画書」といいます。）を提出し、その内容について開示しております。2023年3月31日時点における計画の進捗状況について、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 当社の上場維持基準への適合状況

当社は、移行基準日時点（2021年6月30日）において、東証プライム市場の上場維持基準のうち「流通株式時価総額」について基準を充たしておりませんでした。が、「計画書」に基づき取組みを進めました結果、2023年3月31日時点において、東証プライム市場の上場維持基準の全ての項目で適合いたしました。

		流通株式数	流通株式時価総額	流通株式比率	1日平均売買代金
当社の適合状況及びその推移	2021年6月30日時点 (移行基準日時点)	82,478単位	77.2億円 (※1)	55.8%	0.32億円
	2023年3月31日時点	62,145単位	154.8億円 (※2)	42.0%	0.92億円
上場維持基準		20,000単位	100億円	35%	0.2億円
2023年3月31日時点の適合状況		適合	適合	適合	適合

(※1) 東証が移行基準日（2021年6月30日）時点で把握している当社の株券等の分布状況等を基に算出した流通株式数と2021年4月～6月の平均株価936.2円から算出した値です。

(※2) 東証が2023年3月31日時点で把握している当社の株券等の分布状況等を基に算出した流通株式数と2023年1月～3月の平均株価2491.9円から算出した値です。

2. 上場維持基準への適合に向けた取組みの実施状況及び評価

当社は、東証プライム市場の上場維持基準を安定して充たすための基本方針として①～④までの取組みを実施しております。

- ① 中期経営計画の着実な推進により、持続的な成長と中期的な企業価値の向上を目指します。
- ② IR活動の強化やサステナビリティ情報開示の充実により、投資家の認知度を高めます。
- ③ コーポレート・ガバナンスの更なる充実を図ります。
- ④ 流通株式比率を更に高めるため、非流通株式として保有されている株式の縮減を図ります。

(主な取組みの実施状況について)

① 中期経営計画の推進による企業価値の向上

中期経営計画の初年度（2023年3月期）におきましては、将来の市場環境の変化に対応するため、事業領域の再設定を重点施策として、以下の取組みを行いました。

(1) 情報システム事業

- ・ストック型ビジネスモデルの展開について

既存サービスのクラウド化早期実現に向けて、クラウドサービスのシステム開発を行うグローバルワイズ社を株式取得により子会社化しました。

(2) 制御システム事業

- ・スマートパチスロ事業への参入について

スマートパチスロ事業参入に向けて、当社子会社であるアロフト社がパチスロ機の開発を行うライリィ社と株式譲渡契約を締結し、子会社化しました。

② I R活動の強化とサステナビリティの推進

(1) I R活動の強化について

- ・名古屋証券取引所主催の名証I Rエキスポにブース出展し、多くの個人投資家の皆さまに当社概要や業績等について説明しました。また、WEBを使った個人投資家向け会社説明会を開催しました。
- ・アナリストや機関投資家の皆さまとの1 on 1ミーティングやラージミーティングを実施し、パチンコ業界への理解を深めていただくセミナーを開催しました。

(2) サステナビリティの推進について

- ・2022年12月にTCFD（気候関連財務情報開示タスクフォース）提言への賛同を表明し、当社ウェブサイトにてTCFD提言に沿った情報を開示しました。
- ・環境関連の戦略や取組みなどを評価・認定する国際的な非営利団体CDPから気候変動対応への取組みで、マネジメントレベル「B-」に認定されました。
- ・温室効果ガス排出量の削減に向けて、当社春日井事業所の屋上にソーラーパネルを設置し、再生可能エネルギーの導入を進めました。
- ・ギャンブル依存症チェックゲーム「チェッパチ」をリリースしました。

③ コーポレート・ガバナンスの更なる充実

- ・2022年6月に「議決権電子行使プラットフォーム」を導入しました。
- ・気候変動に係るリスク及び収益機会が当社の事業活動や収益等に与える影響についての必要なデータを収集し、分析しました。（影響は軽微であったため開示しておりません。）

④ 流通株式比率の向上

- ・当社株式の保有状況を分析し、合理的な範囲において取引先等の事業法人が保有する当社株式の縮減を協議させていただきました。

(今後の取組みについて)

東証プライム市場の上場維持基準を安定して充たすためには、投資家の皆さまに当社事業へのご理解を深めていただき、当社株式の魅力を高めていくことが肝要であると考えております。今後も中期経営計画における取組みを着実に進めることで、持続的な成長と企業価値の向上に努めてまいります。

以 上